

ステート・ストリート世界厳選成長株ファンド（FW専用）

月次運用報告書

追加型投資信託／内外／株式・・・ファミリーファンド方式

2024年9月30日

[商品概要]

設定日：2022年5月31日 信託期間：約10年（2032年3月10日まで）

設定・運用：

決算日：3月10日（休業日の場合は翌営業日）

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

<商品の特徴>

◆投資目的

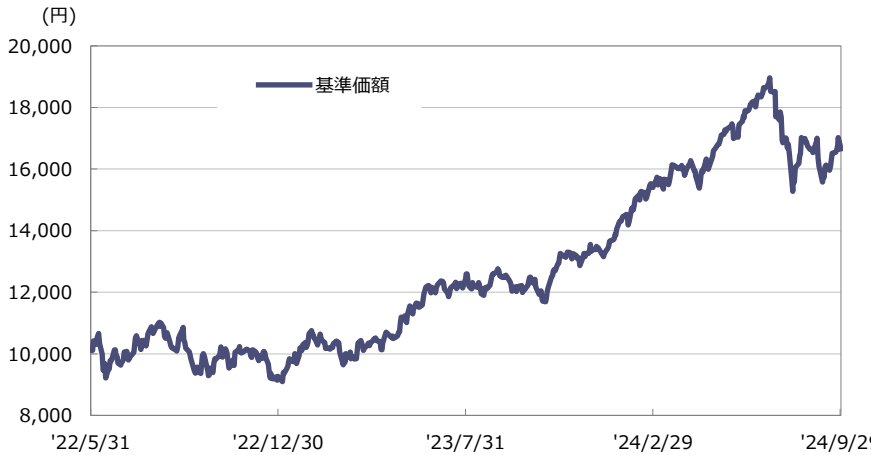
「ステート・ストリート世界厳選成長株マザーファンド」を通じて主として、世界各国の株式の中から、クオリティが高く、イノベーションにより持続可能な成長が期待できる銘柄に投資することにより、中長期的な観点から、運用財産の成長をめざして運用を行います。

◆投資対象

ステート・ストリート世界厳選成長株マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。マザーファンドにおいては、日本を含む世界各国の金融商品取引所等に上場（上場予定を含む）している株式（預託証券（DR）を含む）に投資します。

設定来の基準価額(税引前分配金込)の推移

2024年9月30日現在



※基準価額（税引前分配金再投資）は、信託報酬（後述の「ファンドにかかる手数料について」参照）控除後の値です

基準価額	16,654円
純資産総額	1,069百万円

組入比率（純資産総額対比）

ステート・ストリート世界厳選成長株マザーファンド	99.9%
--------------------------	-------

基準価額騰落率（税引前分配金再投資）

	ファンド
1ヶ月	0.37%
3ヶ月	-9.51%
6ヶ月	4.00%
1年	36.65%
3年	-
設定来	66.54%

※当ファンドの決算時に分配金があった場合に、その税引前分配金で当ファンドを購入（再投資）したとして計算した騰落率です

分配実績（税引前、1万口当たり）

決算期	分配金
第1期（2023年3月10日）	0円
第2期（2024年3月11日）	0円
-	-
-	-
-	-
設定来累計	0円

ステート・ストリート世界厳選成長株マザーファンド 組入状況

資産内訳※

株式等	97.0%
現金他	3.0%
合計	100.0%

通貨別構成比※

米ドル	75.1%
ユーロ	10.8%
英ポンド	8.6%
日本円	3.3%
韓国ウォン	1.4%
その他の通貨	0.9%

国別構成比※

アメリカ	63.6%
イギリス	8.6%
フランス	5.1%
台湾	4.6%
ドイツ	2.9%
オランダ	2.8%
日本	2.6%
カナダ	2.5%
中国	2.3%
韓国	2.0%
その他の国	0.0%

セクター別構成比※

エネルギー	1.7%
素材	0.0%
資本財・サービス	9.2%
一般消費財・サービス	9.9%
生活必需品	0.0%
ヘルスケア	14.8%
金融	4.1%
情報技術	42.9%
コミュニケーション・サービス	8.4%
公益事業	2.4%
不動産	3.5%

※比率はマザーファンド純資産総額対比です

- 本資料は金融商品取引法上及び投資信託法上の開示書類ではありません。
- 本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社（以下「弊社」とします）が当ファンドの情報提供を目的として作成したものであり、投資の勧誘を目的とするものではありません。
- 本資料中の過去の運用実績に関するグラフ・数値等は将来の成果をお約束するものではありません。また、市場概況等は本資料作成時点の弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。
- 本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更することがあります。
- 当ファンドは主に国内外の有価証券に投資するため、組入れた有価証券の値動きおよび為替変動により基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託の商品特性上、上記以外のリスクもあります。

ステート・ストリート世界厳選成長株ファンド（FW専用）

月次運用報告書

追加型投資信託／内外／株式・・・ファミリーファンド方式

2024年9月30日

[商品概要]

設定日：2022年5月31日 信託期間：約10年（2032年3月10日まで）

設定・運用：

決算日：3月10日（休業日の場合は翌営業日）

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

ステート・ストリート世界厳選成長株マザーファンド 組入状況

組入上位10銘柄※（組入銘柄数：38）

銘柄名	セクター	通貨	投資国	比率
MICROSOFT CORP	情報技術	USD	アメリカ	6.2%
NVIDIA CORP	情報技術	USD	アメリカ	5.4%
ALPHABET INC-CL C	コミュニケーション・サービス	USD	アメリカ	4.9%
TAIWAN SEMICONDUCTOR	情報技術	USD	台湾	4.6%
AMAZON COM INC	一般消費財・サービス	USD	アメリカ	4.4%
ASTRAZENECA PLC	ヘルスケア	GBP	イギリス	3.7%
AMERICAN TOWER CORP	不動産	USD	アメリカ	3.5%
SERVICENOW INC	情報技術	USD	アメリカ	3.5%
META PLATFORMS INC-A	コミュニケーション・サービス	USD	アメリカ	3.5%
APPLIED MATERIALS	情報技術	USD	アメリカ	3.1%

※比率はマザーファンド純資産総額対比です

運用状況と今後の方針

<市場動向>

【国内株式市場】

9月の国内株式市場は、上旬に米景気の減速懸念を受けた世界的な株安や円高ドル安の進行から大幅下落しました。その後は米利下げペースが今後緩やかになるとの見方から為替相場が円安にふれたことや米経済のソフトランディング（軟着陸）期待を受けた米株高が相場を支えたものの月間では下落しました。

【先進国株式市場】

9月の海外株式市場は、上旬に米景気の減速懸念から下落しましたが、その後は米利下げ観測や米経済のソフトランディング期待に加えて中国が景気浮揚策を発表したことも相場を支える中、堅調に推移しました。地域別の月間騰落率は米国市場が約2.2%の上昇、欧州市場が約0.7%の下落、アジア市場が約5.5%の上昇となりました。

【新興国株式市場】

9月の新興国株式市場は、原油価格の下落や中東の地政学リスクの高まりが重荷となりましたが、中国当局による景気浮揚策の発表を受けて大幅上昇した中国がけん引する中、上昇しました。

<運用概況>

当月のファンドの騰落率（分配金再投資）は、+0.37%となりました。

セクター別の寄与度は、ヘルスケアやエネルギーなどがマイナスとなりましたが、良好な企業業績や米国の利下げを好感して堅調に推移した情報技術を始め、一般消費財・サービスやコミュニケーション・サービス、資本金・サービスなどがプラスとなり、ファンドの騰落率の上昇に寄与しました。個別銘柄別では、中国政府による追加の金融緩和や景気刺激策を好感して株価が急騰した中国銘柄のJD.com[京東商城]（中国、一般消費財）やシンセン・マインドレー・バイオメディカル・エレクトロニクス（中国、ヘルスケア）を始め、引き続き順調な半導体市場の拡大による大幅な業績成長への期待が株価を押し上げた半導体関連の台湾積体回路製造[TSMC]（台湾、情報技術）やブロードコム（米国、情報技術）、アプライド・マテリアルズ（米国、情報技術）、エヌビディア（米国、情報技術）のほか、アマゾン・ドット・コム（米国、一般消費財）やメタ・プラットフォームズ（米国、コミュニケーション・サービス）、ライトスピード・コマース（カナダ、情報技術）、サービスナウ（米国、情報技術）、マイクロソフト（米国、情報技術）などの保有がプラスに寄与しました。その一方で競合他社が新開発した競合医薬品の良好な治験結果を受けて、同分野（遺伝性成長障害疾患）における今後の競争激化懸念が株価を押し下げたバイオ医薬品メーカーのバイオマリン・ファーマシューティカル（米国、ヘルスケア）を始め、同じくヘルスケア関連のアストラゼネカ（英国、ヘルスケア）やIQVIAホールディングス（米国、ヘルスケア）、パーテックス・ファーマ（米国、ヘルスケア）、中旬に発表した第3四半期（6-8月期）の売上高および当期利益が事前の市場予想を上回った一方で、同時に発表した第4四半期の保守的な見通しが嫌気されアドビ（米国、情報技術）、オランダ政府による中国関連事業の制限計画の発表を受けて株価が軟調に推移したASMLホールディング（オランダ、情報技術）のほか、ゼネラル・モーターズ（米国、一般消費財）やシールンベルジェ（米国、エネルギー）などの保有がマイナスに寄与しました。

<今後の見通し>

世界の株価市場（MSCI ACWI指数、現地通貨ベース）は今年度第2四半期（7-9月期）も上昇を続け、足元では5か月連続の上昇、そして過去1年間では12か月のうち10か月で上昇という良好な地合いを継続しています。最近の市場においては米国経済は景気後退なしにインフレが抑制されている、つまりソフトランディングしているという楽観的な見方が上昇相場の原動力となっています。これによって9月を皮切りとした米連邦準備理事会（FRB）による利下げが可能となったことからドル安の進行につながり、その結果セクターや地域などの物色の傾向が今年の上半期（1-6月）から完全に逆転する動きも見られています。セクター別の観点から見ると、足元の四半期（7-9月）では、利下げの恩恵を受けやすい不動産を始め公益事業や金融などの上昇が目立ちましたが、上半期に好調だったコミュニケーション・サービスや情報技術、エネルギーなどが劣化する展開となっています。地域的な観点から最も特徴的な動きを示したのは上半期に大きく出遅れた中国で、政府による継続的な経済および市場を刺激する措置によってMSCI中国指数（現地通貨ベース）は約22%の上昇（同期間のMSCI ACWI指数の上昇率は約5%）となりました。現在の経済環境に目を向けると、米国や欧州では政治的な展開や将来の経済政策において引き続き不確実性を内包しています。しかしながらインフレ率の抑制とともに経済指標の改善が進化したことによって、米国は無事利下げへの転換に踏み切ることになりました。また欧州においてもインフレ率は低下しており、今後はデysinフレの傾向が確認されるにつれ政策金利はさらに引き下げられる見通しとなっています。

一方で今後の企業ファンダメンタルズを展望すると全体の収益は今年の後半に増加傾向を示し、2025年には10%以上の成長が見込まれています。今年の前半は投資家の多くがAI関連銘柄の物色に集中する動きが見られましたが、今後の決算シーズンでは、持続的な成長を実現し自信に満ちたガイダンス（会社予想）を提示できる企業がリーダーシップを発揮することで、より多様な物色の動きが見られるものと想定しています。その中でもデジタル変革やインフラ、エネルギー転換、安全保障、人口動態などの分野で持続的な成長を享受できるとともに、合理的なバリュエーションを持つ質の高い企業に魅力的な投資機会が存在すると考えています。

○本資料は金融商品取引法上及び投資法上の開示書類ではありません。

○本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社（以下「弊社」とします）が当ファンドの情報提供を目的として作成したものであり、投資の勧誘を目的とするものではありません。

○本資料中の過去の運用実績に関するグラフ・数値等は将来の成果をお約束するものではありません。また、市場概況等は本資料作成時点の弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。

○本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更することがあります。

○当ファンドは主に国内外の有価証券に投資するため、組入れた有価証券の値動きおよび為替変動により基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託の商品特性上、上記以外のリスクもあります。

ステート・ストリート世界厳選成長株ファンド(FW 専用)

追加型／内外／株式

月次運用報告書

設定・運用:ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

ファンドの目的・特色

当ファンドは、「ステート・ストリート世界厳選成長株マザーファンド」への投資を通じて、中長期的な観点から、運用財産の成長をめざして運用を行います。

1. マザーファンドへの投資を通じて、日本を含む世界各国の金融商品取引所等に上場(上場予定を含みます。)している株式(預託証券(DR)を含みます。)へ投資します。
2. 当ファンドは、「ファミリーファンド方式」により運用を行います。
3. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

投資リスク

当ファンドは、主にマザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に世界各国の株式等に投資を行いますが、主として以下に掲げる要因等により基準価額が大きく変動する場合があります、その運用成果(損益)はすべて投資者の皆さまに帰属します。したがって、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、投資元本を割り込み、損失を被る可能性があります。

なお、投資信託は貯蓄金とは異なります。

当ファンドの主なリスクおよび、留意点は以下のとおりですが、当ファンドのリスクおよび留意点を完全に網羅してはございませんのでご注意ください。

また、ファンドのリスクは以下に限定されるものではありません。

< 基準価額の主な変動要因 >

株価変動リスク

当ファンドは、日本を含む先進国および新興国の株式を実質的な投資対象としていることから、株式の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は、個々の企業の活動および業績、経営方針、ならびに法令順守の状況等に反応して変動するほか、投資対象国の経済情勢および景気見通し、ならびに金利変動、為替相場およびそれらの見通し等にも反応して変動します。したがって、マザーファンドに組み入れられる株式の価格は短期的または長期的に下落する可能性があります。

信用リスク

当ファンドは、日本を含む先進国および新興国の株式を実質的な投資対象としていることから、株式の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により損失を被る可能性があります。また、金融商品取引の相手方や受託会社の決済不履行または債務不履行等により損失を被る可能性があります。

為替変動リスク

当ファンドの実質的な投資対象である先進国および新興国の株式は外貨建資産であるため、当ファンドの基準価額は為替変動の影響を受けます。一般に、主な為替相場の変動要因としては、金利変動、中央銀行等による政策金利の変更または為替介入、政治的要因等があります。

流動性リスク

投資対象となる有価証券の市場規模や取引量が少ない状況や解約資金を手当てするために実質的に保有する有価証券を大量に売却しなければならない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。

また、解約資金の手当てが間に合わず、売却した有価証券等の売却代金回収までの期間、一時的に当ファンドで資金借入を行うことによって解約金の支払いに対応する場合があります、その場合の借入金利は当ファンドが負担することになります。

○本資料は金融商品取引法上及び投信法上の開示書類ではありません。

○本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社(以下「弊社」とします)が当ファンドの情報提供を目的として作成したものであり、投資の勧誘を目的とするものではありません。

○本資料中の過去の運用実績に関するグラフ・数値等は将来の成果をお約束するものではありません。また、市場概況等は本資料作成時点の弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。

○本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更することがあります。

○当ファンドは主に有価証券等に投資するため、組入れた有価証券等の値動きにより基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託の商品特性上、上記以外のリスクもあります。

ステート・ストリート世界厳選成長株ファンド(FW 専用)

追加型／内外／株式

月次運用報告書

設定・運用:ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

投資対象国への投資リスク

当ファンドが実質的に保有する有価証券の発行国(投資対象国)における政治不安や社会不安、あるいは他国との外交関係の悪化などの要因により、投資成果に大きく影響することがあります。また、投資対象国の政府当局による、海外からの投資規制や課徴的な税制、海外からの送金規制などの様々な規制の導入や政策変更等により、投資対象国の有価証券への投資に悪影響が及ぶ可能性があります。

<その他の留意点>

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。

これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。

<リスクの管理体制>

運用部に属するポートフォリオ・マネージャーは約款に定める運用方針に加え、内部ガイドラインを作成し、徹底したリスク管理と厳格なポートフォリオ管理を行います。業務部の運用評価グループは、毎月パフォーマンス分析レポートを作成し、月次収益率と対ベンチマーク超過リターンの算出と要因分析を行います。コンプライアンス・リスクマネジメント部では、全ファンドにおける運用ガイドライン遵守状況を運用部から離れた立場で確認しております。投資政策委員会において投資行動やパフォーマンスに関する運用の報告内容を確認するとともに、毎月末の運用ガイドライン遵守状況等の確認をします。

委託会社では、流動性リスク管理に関する規程を定め、ファンドの組入資産の流動性リスクのモニタリングなどを実施するとともに、緊急時対応策の策定・検証などを行います。取締役会等は、流動性リスク管理の適切な実施の確保や流動性リスク管理態勢について、監督します。

ファンドにかかる手数料について

申込手数料・・・ありません。

換金(解約)手数料・・・ありません。

信託報酬・・・日々のファンド純資産総額に年率0.869%(税抜0.79%)の信託報酬率を乗じて得た額とします。

信託財産留保額・・・ありません。

その他の費用・手数料・・・信託事務の処理等に要する諸費用、有価証券等売買時の売買委託手数料、資産を海外で保管する場合の費用、ファンドの監査にかかる費用等がファンドから支払われます。これらは、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

収益分配金に関する留意事項

- ・ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- ・ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の利子・配当収入および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも

○本資料は金融商品取引法上及び投信法上の開示書類ではありません。

○本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社(以下「弊社」とします)が当ファンドの情報提供を目的として作成したものであり、投資の勧誘を目的とするものではありません。

○本資料中の過去の運用実績に関するグラフ・数値等は将来の成果をお約束するものではありません。また、市場概況等は本資料作成時点の弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。

○本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更することがあります。

○当ファンドは主に有価証券等に投資するため、組入れた有価証券等の値動きにより基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託の商品特性上、上記以外のリスクもあります。

ステート・ストリート世界厳選成長株ファンド(FW 専用)

追加型／内外／株式

月次運用報告書

設定・運用:ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

- ・ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部又は全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがいり小さかった場合も同様です。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

【販売会社】

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人投資信託協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	—	○	○	—
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	—	○	○	○

※販売会社は今後変更となる可能性があります。

【受託会社】

受託会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人投資信託協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	—	○	○	—
(再信託先: 株式会社日本カस्टディ銀行)	(登録金融機関)	(関東財務局長(登金)第602号)	(○)	(—)	(—)	(—)	(—)

【委託会社】

委託会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人投資信託協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第345号	○	○	○	—	—

○本資料は金融商品取引法上及び投信法上の開示書類ではありません。

○本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社(以下「弊社」とします)が当ファンドの情報提供を目的として作成したものであり、投資の勧誘を目的とするものではありません。

○本資料中の過去の運用実績に関するグラフ・数値等は将来の成果をお約束するものではありません。また、市場概況等は本資料作成時点の弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。

○本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更することがあります。

○当ファンドは主に有価証券等に投資するため、組入れた有価証券等の値動きにより基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託の商品特性上、上記以外のリスクもあります。